

I 文化芸術事業の概要

1 札幌芸術賞・札幌文化奨励賞

札幌芸術賞・札幌文化奨励賞は、本市における美術、文学、音楽、演劇、舞踊等の芸術文化の進展に寄与した個人・団体に対する表彰制度であり、本市の芸術文化の振興に資することを目的に、昭和47年度（札幌文化奨励賞は昭和48年度）より実施している。

(1) 賞の概要

賞名(※)	札幌芸術賞(札幌市民芸術賞)	札幌文化奨励賞(札幌市民文化奨励賞)
創設年度	昭和47年度	昭和48年度
選考の対象者	本市に10年以上主たる活動の場を有する個人又は団体で、本市における芸術文化の進展に関し特に業績顕著なものとして、第三者から推薦されたもの。	本市に5年以上主たる活動の場を有する個人又は団体で、本市における芸術文化の進展に関し特に奨励するに値する芸術文化活動を行い、又は市民文化の向上に貢献しているものとして、第三者から推薦されたもの。
贈呈	賞状・賞金(30万円)	賞状・賞金(10万円)
過去受賞者数 (～令和2年度)	123 (個人118、団体5)	155 (個人139、団体16)

※平成13年度に賞名変更

(2) 過年度受賞者

ア 札幌芸術賞

年 度	受 賞 者		
第49回(令和2年度)	谷本 聡子	渡辺 美明	(一社)北海道二期会
第48回(令和元年度)	大木 秀一	北村 清彦	文屋 治実
第47回(平成30年度)	阿部 博光	柿崎 熙	混声合唱団 響友会
第46回(平成29年度)	竹内 津代	則竹 正人	宏瀬 賢二
第45回(平成28年度)	杵屋 勝桂	國松 明日香	羽毛 蒼洲
第44回(平成27年度)	角 幸博	土田 英順	HBC少年少女合唱団
第43回(平成26年度)	小泉 のり子	中村 照子	西田 陽二
第42回(平成25年度)	阿部 和加子	荒巻 義雄	中村 隆夫
第41回(平成24年度)	竹津 宜男	森 一生	渡辺 信
第40回(平成23年度)	高岡 立子	竹岡 羊子	中村 昇
第39回(平成22年度)	川井 坦	千田 雅子	三部 安紀子
第38回(平成21年度)	大平 まゆみ	照井 武	堀内 掬夫
第37回(平成20年度)	川越 守	杉山 留美子	谷口 亜岐夫
第36回(平成19年度)	朝倉 賢	木嶋 良治	小原 道城
第35回(平成18年度)	岸本 裕躬	木村 雅信	菅村 敬次郎
第34回(平成17年度)	池上 恵三	我妻 緑葉	清水 武男
第33回(平成16年度)	鬼丸 吉弘	斎藤 大雄	長内 勲
第32回(平成15年度)	藤田 道子	矢崎 勝美	辻井 京雲
第31回(平成14年度)	鈴木 光彦	熊谷 玲子	圓山 彬雄
第30回(平成13年度)	尾崎 志郎	雨貝 尚子	佐々木 秋放
第29回(平成12年度)	阿部 典英	八木 伸子	
第28回(平成11年度)	木村 敏男	伏木田 光夫	西川 鯉蔵
第27回(平成10年度)	米谷 雄平	綿引 幸造	沖中 棟舟
第26回(平成9年度)	藤間 幹寿	小檜山 博	武内 昭二
第25回(平成8年度)	高垣 幸子	松本 暎子	原 義行
第24回(平成7年度)	渡會 純价	佐藤 のり子	

年 度	受 賞 者		
第23回(平成6年度)	鎌田 俳捺子	北海道交響楽団	中野 層翠
第22回(平成5年度)	谷口 一芳	小倉 和子	
第21回(平成4年度)	宍戸 悟郎	伊東 将夫	藤根 凱風
第20回(平成3年度)	原子 修		
第19回(平成2年度)	村岸 文輔	島田 無響	藤堂 志津子
第18回(平成元年度)	佐藤 庫之介	能藤 玲子	
第17回(昭和63年度)	新妻 博	渡辺 伊八郎	
第16回(昭和62年度)	砂田 友治	竹岡 和田男	
第15回(昭和61年度)	篠原 邦幸		
第14回(昭和60年度)	畠山 三代喜		
第13回(昭和59年度)	亀山 良雄	大本 靖	
第12回(昭和58年度)	上遠野 徹		
第11回(昭和57年度)	坂 坦道	栃内 忠男	
第10回(昭和56年度)	本田 明二	吉田 十四雄	(財)札幌交響楽団
第9回(昭和55年度)	沙原 聖子	横谷 瑛司	
第8回(昭和54年度)	繁野 三郎		
第7回(昭和53年度)	遠藤 道子	小川 東洲	高橋 揆一郎
第6回(昭和52年度)	國松 登		
第5回(昭和51年度)	松本 春子	小沢 輝佐子	
第4回(昭和50年度)	水口 幾代	小谷 博貞	
第3回(昭和49年度)	荒谷 正雄	中野 北溟	本山 節彌
第2回(昭和48年度)	佐藤 岡豊	千田 モト	澤田 誠一
第1回(昭和47年度)	栗谷川 健一	河邨 文一郎	

イ 札幌文化奨励賞

年 度	受 賞 者			
第48回(令和2年度)	尾崎 要	クスミ エリカ	札幌合唱団	
第47回(令和元年度)	奥山 健恵	特定非営利活動法人コンカリーニョ		
第46回(平成30年度)	影山 裕子	前澤 良彰	Mizuho	
第45回(平成29年度)	阿地 信美智	一鐵 久美子	加藤 正叙	
第44回(平成28年度)	近江 宏	大阪 克彦	松井 亜樹	
第43回(平成27年度)	石田 敏明			
第42回(平成26年度)	澁谷 俊彦	八木 幸三	山田 航	
第41回(平成25年度)	浅井 智子	久保田 隆洲	佐々木 秀明	
第40回(平成24年度)	川上 りえ	福居 良	若宮 明彦	
第39回(平成23年度)	伊藤 隆介	大嶋 恵人	五條 明鈴	
第38回(平成22年度)	谷口 明志	富田 とき子		
第37回(平成21年度)	駒ヶ嶺 ゆかり	下沢 敏也		
第36回(平成20年度)	札幌アカデミー合唱団	平向 功一	若狭 弘樹	
第35回(平成19年度)	大杉 洋子	南 聡		
第34回(平成18年度)	トリオ・ダッシュ札幌	ソノ・マリア弦楽四重奏団	早川 涉	
第33回(平成17年度)	源 鬼彦	岡本 孝慈	佐藤 浩司	札幌フルハーモニー管弦楽団
第32回(平成16年度)	端 聡			
第31回(平成15年度)	臼井 千百	萩原 のり子	札幌シンフォニエッタ	
第30回(平成14年度)	中村 隆夫	阿部 博光	富岡 雅美	赤川 智保
第29回(平成13年度)	則竹 正人	梅本 実	椎名 智恵子	
第28回(平成12年度)	水田 香			
第27回(平成11年度)	市川 映子	吉川 順子		
第26回(平成10年度)	金田一 仁志	若柳 旭甫	大楽 勝美	

年 度	受 賞 者				
第25回(平成9年度)	中島 洋	谷本 聡子	安東 泰寿	今藤 長三四	
第24回(平成8年度)	斎藤 歩	谷口 亜岐夫	橋本 賀寿井	花柳 金栄	梅津 恒見
第23回(平成7年度)	小原 道城	蓼 胡雄輝	森 一生	二反田 岳水	桑山 真弓
第22回(平成6年度)	西川 隆久	太田 晃正	辻脇 系一	長内 勲	藤間 藤輝
第21回(平成5年度)	國松 明日香	新村 訓平	黒河 好子	須藤 恭央	中島 聖山
第20回(平成4年度)	太田 明彦	岸田 頌子	宇川 隆雄		
第19回(平成3年度)	佐藤 雅英	村田 高生	西川 鯉蔵		
第18回(平成2年度)	松田 由理子	吉武 知伊子	山田 緑光	近江 善正	
第17回(平成元年度)	戸坂 恵美子	原田 玉嶺	玉川 雄介	難波 鼓章	
第16回(昭和63年度)	館 圭子	三ヶ森 茂夫	ささきみつあき	原 賢司	加藤 秋霜
第15回(昭和62年度)	旭 吟城	劔持 小枝			
第14回(昭和61年度)	加藤 貴美篁	下沢 土泡			
第13回(昭和60年度)	長根 雅楽悠美	武内 昭二	窪田 薫	長野 京子	
第12回(昭和59年度)	松崎 染孝	福居 天童	川越 守	山岸 巨狼	
第11回(昭和58年度)	伊藤 鈴鳥	グループ「りら」	斉藤 信和		
第10回(昭和57年度)	佐々木 孝	佐々木 伸浩	雨貝 尚子		
第9回(昭和56年度)	宮崎 芳男	北海道今声連盟	松本 晁章	金森 登喜子	
第8回(昭和55年度)	中川 清風	札幌民謡連盟		宍戸 悟郎	
第7回(昭和54年度)	菱川 善夫	人形劇団「ひよっこ」		五條 珠淑	
第6回(昭和53年度)	方究会	杉山 安次	池上 恵三	高垣 幸子	村岸 文輔
第5回(昭和52年度)	森の仲間	安斎 奈々見	混声合唱団	響友会	浅井 淑子
第4回(昭和51年度)		俳句結社「はまなす」		相原 宗和	花柳 秀恵以
第3回(昭和50年度)	南 利一	山崎 紅水	芦野 トシ	高岡 立子	札幌川柳社
	木原 直彦				
第2回(昭和49年度)	内山 義雄	北出 清一	山田 喜代	佐薙 のり子	
第1回(昭和48年度)	今井 篁山	西 明美			

2 市民ロビーコンサート

昼休みのひとときを、市役所ロビーにおいて気軽に楽しめるコンサートとして、昭和55年8月より開催。出演は主として本市にかかわりのある中堅音楽家で、これまでクラシックを中心に482回、延べ出演者(団体)数は1,062人に達している(令和3年3月末現在)。

このコンサートは、優れた演奏に接することができる場を提供するものとして、多くの市民に親しまれており、音楽文化の振興に寄与するだけでなく、オフィス街での貴重なうらおいの場となっている。

(1) 事業概要

主 催：市民ロビーコンサート運営委員会

場 所：市庁舎1階ロビー

開催日：原則として月1回(第4金曜日)

時 間：12時25分開演(約20分間)

(2) 令和2年度出演者・曲目(令和2年度来場者数：85人)

回数	開催日	出演者	主な曲目
-	【開催中止】 4月24日	上田 博美(ホルン)	中止(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため)
-	【開催中止】 5月22日	前田 奈央子(声楽)	中止(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため)

回数	開催日	出演者	主な曲目
-	【開催中止】 6月26日	菊池 春香 (ピアノ)	中止 (新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため)
-	【開催中止】 7月31日	上田 博美 (ホルン)	中止 (新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため)
-	【開催中止】 8月28日	笹尾 雅代 (声楽)	中止 (新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため)
481	9月25日	札幌プレクトラム・アンサンブルカルテット 庄司 功 (マンドリン) 松葉 里佳子 (マンドリン) 昆 知子 (マンドリン) 今野 恵 (マンドラテノール) 清水上 修二 (ギター)	・丘を越えて/古賀政男作曲 ・夜想曲/S. コペルティニー作曲 ・石の花/湯浅隆作曲 ・浜辺の唄/成田為三作曲
482	10月23日	中野 耕太郎 (トロンボーン) 永沼 絵里香 (ピアノ)	・ガブリエルのオーボエ/E. モリコーネ作曲 ・ニューシネマパラダイス/E. モリコーネ作曲 ・シンドラのリスト/J. ウィリアムズ作曲 ・海に見える街 「魔女の宅急便」より/久石譲作曲 ・ふたたび 「千と千尋の神隠し」より/久石譲作曲
-	【開催中止】 11月20日	樋本 朱音 (ヴィオラ) 永沼 絵里香 (ピアノ)	中止 (新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため)
-	【開催中止】 12月25日	カルテット クオーク 杉田 知子 (第1 ヴァイオリン) 佐々木 聖子 (第2 ヴァイオリン) 岩田 貴子 (ヴィオラ) 中川 恵美 (チェロ)	中止 (新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため)
-	【開催中止】 1月22日	伊藤 千恵子 (邦楽)	中止 (新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため)
-	【開催中止】 2月26日	【令和2年度札幌市民芸術祭新人音楽会大賞受賞者】	中止 (新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため)
-	【開催中止】 3月26日	西岡 舞香 (ピアノ) 佐川 彩名 (フルート)	中止 (新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため)

3 主な文化芸術事業・団体への補助

札幌市民芸術祭実行委員会や(公財)札幌交響楽団などに対し、補助金を交付している。

(単位：千円)

団 体 名	平成30年度	令和元年度	令和2年度
札幌市民芸術祭実行委員会	12,003	12,003	8,175
(公財)札幌交響楽団	160,000	160,000	160,000
札幌文化団体協議会	2,144	2,144	2,144
(公財)北海道演劇財団	3,430	3,430	3,430

※札幌市民芸術祭実行委員会の令和2年度補助金は新型コロナウイルスの影響により、事業費が縮減したことによる。(当初予算額は12,003千円)

<主な交付団体の状況>

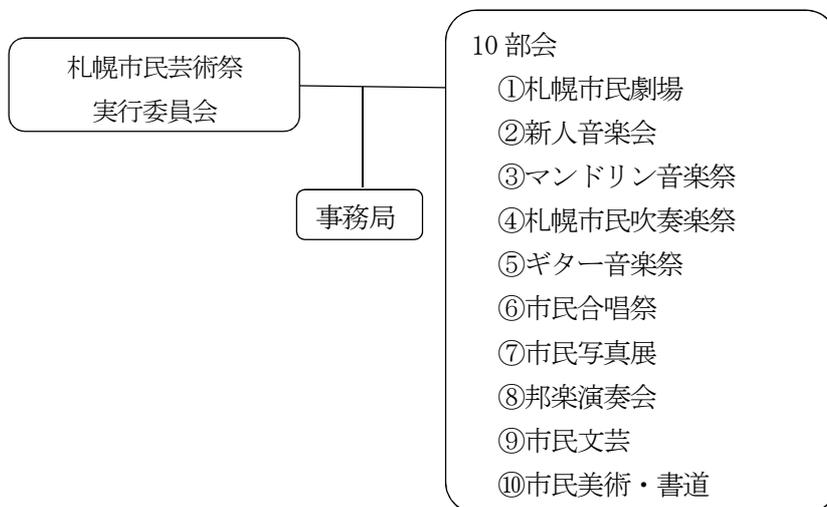
(1) 札幌市民芸術祭実行委員会

昭和22年から開催されていた「市民美術展」を発端とし、昭和33年の市民会館閉館を機に「市民劇場」がスタートした。その後、昭和48年に多くの市民参加により札幌市民芸術祭実行委員会が発足した。札幌

市民芸術祭は、美術、音楽、演劇、舞踏、文芸などの文化芸術各分野における市民の創造発表活動を促進することを目的としており、10の部会で構成された実行委員会により、幅広く事業を展開している。

ア 組織概要

10の部会で構成され、実行委員会委員16人、部会委員108人その他専任の事務局員により、年間を通して事業の推進に当たっている。



イ 顕彰制度

特に優秀な発表を行った団体及び個人に対し札幌市民芸術祭大賞を、大賞に準ずるもの又は将来性が高く期待される発表を行った団体及び個人に対し札幌市民芸術祭奨励賞を授与している。



新人音楽会



市民美術・書道展

(2) 札幌交響楽団

昭和37年設立。道内唯一のプロオーケストラとして、各種演奏会のほか、青少年に対する音楽普及活動や福祉施設での演奏など、様々な教育・社会活動を、本市のみならず全道で展開し、音楽文化の向上に寄与している。

ア 組織概要

事務局所在地 札幌市中央区中島公園1番15号 札幌コンサートホール内

電話 011-520-1771

URL <https://www.sso.or.jp/>

楽団員数 72名（令和3年3月末日現在）

演奏回数 64回（定期演奏会15回）

決算総額 818,149千円（令和2年度）

イ 活動内容（令和2年度）

			公演数	入場者数(人)	内 容
自主公演	定期公演	市内	15	13,026	定期演奏会
		市内	11	7,367	名曲シリーズ、夏休みスペシャル、札幌の第9等
	特別公演	道内	6	1,861	
		東京	0	0	
依頼公演	市 内	14	11,546		
	道 内	8	2,273		
	道 外	0	0		
音楽教室	市 内	4	2,134		
	道 内	0	0		
	道 外	6	1,034		
合 計			64	39,241	

4 写真文化振興事業

市民の貴重な財産である札幌の歴史や風俗等を記録した写真を活用し、市民が気軽に写真芸術に親しめる機会を創出するなど、写真文化の振興を目的として平成22年度より事業を開始し、写真展や写真教室を開催している。

(1) 北一条さっぽろ歴史写真館

北一条地下通路を歴史写真館として、(株)セイコーマート（現 (株)セコマ）の協力を得て施設整備を行い、平成23年9月22日にオープンした。NPO法人北海道を発信する写真家ネットワークが、年2回展示内容を企画している。

展示テーマ	開催期間
「札幌姉妹都市」	2. 9. 29-3. 3. 25
「資料館重要文化財指定記念～歴史の記憶を伝える文化財」	2. 3. 26-9. 30（予定）



(2) 写真展

内容	開催期間
公募参加型web写真展「@MyPlace」	2. 11. 17-3. 3. 31

(3) 飯沢耕太郎オンデマンド講演会

開催日：令和2年12月25日～令和3年1月31日

5 パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌 (PMF)

次代を担う若手音楽家の育成を通して、音楽の普及・発展を目指す国際教育音楽祭パシフィック・ミュージック・フェスティバル (PMF) は、20 世紀を代表する指揮者、作曲家そして教育者として知られるレナード・バーンスタイン (1918～1990) の提唱により、平成 2 年に創設された。



PMF は世界で活躍する音楽家を教授陣に迎え、世界各国・地域からオーディションで選ばれた若手音楽家を育成する「教育事業」、教授陣やアカデミー生、ゲストアーティストにより多彩なコンサートを行う「演奏会事業」、PMF アーティストの音楽体験のトーク、音楽家を交えてのディスカッションなどを行う PMF 教育セミナーや PMF オーケストラのリハーサルを見学することができるオープンリハーサルなど、音楽の幅広い普及をめざす「音楽普及事業」の 3 部門で構成されている。

<PMF2020 中止>

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、海外からの入国制限措置が強化されるとともに、来場者の安全・安心を確保することが困難と判断し、2020 年 7 月 10 日 (金) から 8 月 3 日 (月) までの会期で予定していた PMF2020 の開催を中止した。

一方で、PMF2021 機運醸成事業として、オンラインイベント「PMF Connects ～2020 Summer Festival～」をはじめ、市民が身近にクラシック音楽に触れることができる機会を提供し、クラシック音楽の普及を図った。

<PMF Connects LIVE ! >

月日	公演時間	会場	来場者
9/5	13 : 00/15 : 30	大通公園西 6 丁目	379 人
9/29	14 : 00/18 : 30	市民交流プラザ SCARTS コート	88 人
10/2	19 : 00	豊平館	29 人
10/31	13 : 00/15 : 30	札幌駅前通地下歩行空間	86 人
11/20	18 : 00	さっぽろ創世スクエア	中止
12/16	19 : 00	時計台ホール	47 人
12/21	14 : 00/18 : 00	札幌駅前通地下歩行区間	76 人
1/9	13 : 00/16 : 00	市民交流プラザ SCARTS コート	中止
1/29	19 : 00	豊平館	47 人
3/7	13 : 00	市民交流プラザクリエイティブスタジオ	99 人
3/27	19 : 00	市民交流プラザクリエイティブスタジオ	83 人

6 さっぽろアートステージ

文化の日の属する 11 月を文化月間と位置付け、様々なアート系イベントを集中的に実施する事業として、平成 17 年度から開催。札幌発の文化芸術活動に触れる機会を創出して市民の文化芸術への関心を高めるとともに、発表の機会が少ない団体や個人に発表の場を提供し、文化活動の担い手を育成することを目的としている。

＜令和2年度事業概要＞

※入場者数にはオンライン上の視聴者数を含む

	事業内容	開催期間	会場	入場者数
舞台芸術部門	札幌劇場祭（25作品、84公演） 札幌劇場祭大賞： Org of A 『Org of A 3rd. act 異邦人の庭』 ※他2団体が優秀賞を受賞	10/31-11/30	市内8劇場 演劇専用小劇場 BLOCH 扇谷記念スタジオシアターZ00 札幌市教育文化会館 札幌市こども人形劇場こぐま座 札幌市こどもの劇場やまびこ座 サンピアザ劇場 生活支援型文化施設コンカリーニョ cube garden	2,929人
	北海道中学生演劇発表大会	11/21-22	札幌市教育文化会館	355人
音楽部門	サッポロミュージックショーケース 公募選考10組による演奏配信	11/14-15	オンライン配信	3,155人
学生音楽部門	さっぽろスクール音楽祭 市内小中学校・高校の合唱・器楽・ 吹奏楽クラブによる演奏を発表	11/1-30	オンライン配信	14,633人 ※参加校 合唱7校 器楽・吹奏楽8校
美術部門	アートストリート 札幌を中心に活躍する現代アート 作家等によるインスタレーション 作品や映像作品等を展示	11/7-23	札幌駅前通地下歩行空間 札幌市民交流プラザ	293,255人
	スクールアートライブ 市内高校の美術部による美術作品 の展示	11/7-23	札幌駅前通地下歩行空間	参加校 6校
	キッズアートフェス 子ども向けワークショップ (事前開催)	10/3, 4 10/17, 18, 25	札幌市民交流プラザ	32人
	キックオフイベント	11/7	札幌駅前通地下歩行空間	15,651人

7 サッポロ・シティ・ジャズ

国内有数の大型ジャズフェスティバルとして平成19年度から開催。

札幌文化芸術劇場「hitaru」や札幌芸術の森野外ステージでの国内外のトップアーティストによるライブステージのほか、市内各所で開催した市民アーティスト参加型のライブなど、バラエティに富んだプログラムを実施

＜令和2年度事業概要＞ 開催期間：通年（フェスティバル期間：夏R2. 8. 1-15, 秋R2. 10. 2-7, 冬R2. 12. 10-11）

新型コロナウイルス感染症の影響により、夏に予定していた「パークジャズライブ」などのライブは演奏動画のオンライン配信に切り替え開催したほか、秋には、「シアタージャズライブ」をはじめとする各種ライブを市民交流プラザで実施し、定員制限を導入したライブについてはオンライン配信も行った

事業内容	開催期間等	会場	入場者数
札幌観光の資源創出			
シアタージャズライブ	2.10.2-7	札幌文化芸術劇場 hitaru	2,218人
企業・団体とのタイアップによる事業の普及			
サッポロ・サウンド・スクエア	2.9.26ほか5日	札幌駅前通地下歩行空間北3条交差点広場	2,248人
TAIYO GROUP×SAPPORO CITY JAZZ タイアップ公演	2.7.20	札幌文化芸術劇場 hitaru	902人
RUSUTSU Music Live Season9	2.12.19-3.3.30	ルスツリゾート	1,981人
SUMMER STAGE SAPPORO BIG FUN	2.9.6	札幌芸術の森野外ステージ	1,000人
札幌ナイトアッププロジェクト	2.10.3-4	さっぽろ羊ヶ丘展望台	432人
札幌時計台 LIVE2020 × SAPPORO CITY JAZZ	2.11.2-30	札幌時計台	489人
Sapporo アートキャンプ「MORI のジャズ」	3.2.6-7	札幌芸術の森アートホール	464人
札幌市民交流プラザを活用した教育普及事業			
ランチタイムコンサート	2.10.4-7	札幌市民交流プラザ SCARTS コート	216人
ワンドリンクジャズカフェ	2.10.5-6	札幌市民交流プラザ SCARTS コート	109人
ジャズライブラリ	2.9.24-10.13	札幌市民交流プラザ 札幌市図書・情報館	1,397人
シティジャズオフィシャルブース	2.10.2-7	札幌文化芸術劇場 hitaru エントランスロビー	781人
ユニバーサルジャズライブ	2.10.3	札幌市民交流プラザ SCARTS コート	79人
デイトム親子ジャズ (配信)	2.12.1-3.3.31	—	—
文化芸術を通じた市民活動の促進			
パークジャズライブ (配信)	2.8.1-9	—	—
パークジャズライブコンテスト (配信)	2.8.1-9	—	—
育成・支援事業			
札幌ジュニアジャズスクール	通年	札幌芸術の森アートホールほか	—
ジャズの種プロジェクト	通年	砂川市、幕別町、羊蹄山麓町村、 広尾町の各会場	—
ユースジャムセッション試演会	2.8.15	札幌芸術の森野外ステージ	304人
質の高い文化芸術の創造・提供			
ビックバンドプロジェクト定期演奏会	2.12.10-11	札幌市教育文化会館小ホール	281人

8 子どもの文化芸術体験事業

(1) こころの劇場

日ごろ接する機会の少ない本格ミュージカルのすばらしさを、感性豊かな子どものときに体験してもらうことを目的として、市内の小学6年生を劇団四季のミュージカルに無料招待する事業。

昭和54年度から、(財)ニッセイ文化振興財団との共催により「ニッセイ名作劇場」として開催し、平成20年度からは、(一財)舞台芸術センター、四季株式会社(劇団四季)との共催により「こころの劇場」として開催している。

<平成28-令和2年度事業実績>

年度	公演数	会場	演目	鑑賞者数
28	8	ニトリ文化ホール	「王子とこじき」	206校、15,802人
29	8		「ガンバの大冒険」	206校、15,645人
30	8		「王様の耳はロバの耳」	202校、15,855人
元	8	札幌文化芸術劇場 hitaru	「カモメに飛ぶことを教えた猫」	203校、16,054人
2	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止			

(2) Kitaraファースト・コンサート

オーケストラ演奏を鑑賞する機会を創出し、豊かな情操教育の推進、次世代を担う子どもたちへの音楽文化の普及振興を図るため、札幌市内の全小学6年生を対象とし、優れた音響を誇る札幌コンサートホールKitaraで、オーケストラ演奏を鑑賞・体験させる事業を例年実施している。

平成16年度より実施している本事業は学校授業の一環となっており、教職員の協力による事前学習のほか、当日の公演の中では楽器解説なども行っている。

<令和2年度事業概要>

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度においてはコンサートの開催を中止した。代替措置として、音楽の授業で活用可能なDVDを札幌交響楽団の演奏で制作し、各学校への配布を行った。

DVD収録内容

出演 札幌交響楽団

曲目 エルガー 行進曲「威風堂々」第1番 ニ長調

ブラームス ハンガリー舞曲 第5番

モーツァルト セレナーデ 第13番ト長調K.525「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より第1楽章

ヨハン・シュトラウス ラデツキー行進曲 ほか

参加者数（児童及び引率者数の合計）

年度	参加者数（学校数）
平成30年度	15,553人（210校）
令和元年度	15,697人（208校）
令和2年度	-



(3) おとどけアート

アーティストと触れ合う機会を通じて、子どもたちが芸術的感性を育むことを目的に、平成20年度より実施している。小学校にアーティストを派遣し、短期間滞在させることで、ともに作品を制作するなどの「アート体験」を提供した。

<令和2年度事業概要>

学校名	アーティスト名	期間	参加者数
札幌市立新琴似北小学校	風間 天心	2.8.19-2.12.24	児童400名、教職員22名、 保護者約30名 計452名
札幌市立西岡南小学校	小林 大賀	2.12.4-3.2.5	児童671名、教職員33名、 保護者約50名 計754名
札幌市立新川小学校	下道 基行	2.11.6-3.2.18	児童663名、教職員32名、 保護者約50名 計745名

(4) ハロー！ミュージアム

子どもたちが優れた文化芸術に触れる機会の充実を図り、創造性を育むことを目的として、平成20年度から実施している。札幌市内の全小学5年生を対象とし、札幌芸術の森及び本郷新記念札幌彫刻美術館へ招待し、本物の芸術に触れ、学ぶ機会を提供する事業。

各施設の特色を生かし、美術の鑑賞活動や造形活動プログラムを行った。

<令和2年度事業概要>

プログラム

芸術の森美術館コース：札幌芸術の森美術館での鑑賞活動

野外美術館コース：札幌芸術の森野外美術館での鑑賞活動

子どもアトリエコース：佐藤忠良記念子どもアトリエでの表現活動

彫美・鑑賞コース：本郷新記念札幌彫刻美術館での鑑賞活動

彫美・表現コース：本郷新記念札幌彫刻美術館での表現活動

期間：令和2年6月18日（木）～令和3年2月12日（金）

参加学校数：市内小学校 107校

（芸術の森美術館コース 44校、野外美術館コース 35校、子どもアトリエコース 10校、彫美・鑑賞コース 16校、彫美・表現コース 2校）

参加児童数：7,409人

9 札幌国際芸術祭

札幌国際芸術祭（Sapporo International Art Festival 略称：SIAF^{サイアフ}）は3年に1度、札幌市内各所で開催される国際的なアートフェスティバル。平成26年度に初開催し、平成29年度には第2回となるSIAF2017を開催。令和2年度は、第3回となるSIAF2020を開催予定であったが、世界的に新型コロナウイルス感染症が終息しない状況を受けて中止した。

(1) SIAF2020【開催中止】

第3回となるSIAF2020は、札幌の特徴や魅力をより生かしていくため開催時期を冬季とし、「札幌の魅力を国内外に発信」と「市民の創造性の醸成」を目指したプログラムの実施を目指し準備を進めた。

<概要>

項目	内容	
会期	令和2年12月19日（土）～令和3年2月14日（日）【58日間】	
テーマ	Of Roots and Clouds：ここで生きようとする ^{シンリット} Sinrit / ^{ニシクル} Niskur（アイヌ語表記）	
ディレクター チーム	統括ディレクター兼 企画ディレクター（現代アート）	天野 太郎 （横浜市民ギャラリーあざみ野主席学芸員）
	企画ディレクター （メディアアート）	アグニエシュカ・クビツカ＝ジェドシュツカ （WRO メディアアートセンター勤務、メディアアート専門キュレーター）
	コミュニケーションデザイン ディレクター（※）	田村 かのこ （Art Translators Collective 主宰）
主な会場	札幌市民交流プラザ、モエレ沼公園、札幌芸術の森、北海道立近代美術館、mima 北海道三岸好太郎美術館、札幌市資料館、札幌大通地下ギャラリー500m美術館、本郷新記念札幌彫刻美術館	
参加アーティスト	全72組（うち北海道内の美術館コレクションからの出展25組）	

※ 広報・PR等芸術祭をわかりやすく伝える役割を担うディレクター

(2) 令和2年度実施事業

ア 札幌国際芸術祭 2020 特別編

開催中止となった SIAF2020 の作品やプロジェクトの構想などについて、オンラインコンテンツや冊子を通じて、できる限りの方法で公開する「SIAF2020 特別編～開催中止となった SIAF2020 を今できる限りの方法で公開します～」を本来の会期である令和2年12月19日～令和3年2月14日に実施した。

項目	概要
①ウェブサイト「SIAF2020 マトリクス」	展示として実現することのなかった SIAF2020 の企画を、機械学習などの最先端の技術を活用してインターネット上に構築し、オンラインならではの新しい鑑賞体験を提供するウェブサイトを公開した。
②展示「SIAF2020 ドキュメント」	出展作品やプロジェクトなどの企画を、テキストや写真・映像などにより紹介するアーカイブ展を開催した。 期間：令和3年2月5日～14日 場所：札幌文化芸術交流センターSCARTS 入場者数：2,560人
③映像配信「SIAF TV」	出展予定だったアーティストのインタビュー動画全44本をYouTubeで公開し、作品の構想や札幌への思い、表現活動に対するコロナ禍の影響など、アーティストの生の声を日英バイリンガルで配信した。
④記録集「SIAF2020 インデックス」	SIAF2020 で展示を予定していた作品や構想を、参加アーティストのインタビュー等を元に編集し、多数の貴重な資料や画像と共に紹介した。
⑤アートメディアエーションプログラム	アートと鑑賞者をよりよい形でつなぐ「アートメディアエーション」の取組の一環として、自宅等で楽しめるオンラインを活用した企画やワークショップなどを実施した。

イ 札幌国際芸術祭普及事業

項目	内容	日時・会場等	参加人数
①ディレクターズニュース	ディレクター3名が SIAF2020 の企画や構想、コロナ禍におけるアート情勢等について発信する YouTube コンテンツを配信した。	5月から11月までで13回配信	再生回数 6,926回
②SIAF 部の活動	アートマネジメント等に関するスキルの習得を目的とし、平成30年度から継続している「SIAF 部」の活動において、展示やイベントの企画・運営などを通じた人材育成プログラムを実施した。	5月から3月までで10回実施	部員数 5名
③SIAF ラウンジにおける情報発信	札幌市資料館内で SIAF に関する冊子、写真、動画などの記録資料の閲覧が可能なカフェスペース「SIAF ラウンジ」を運営した。	開館時間：9:00～19:00 ※第2・4木曜のみ9:00～16:00 休館日：毎週月曜（月曜が祝休日の場合はその翌平日）、年末年始 ※4/13～5/31は新型コロナウイルス感染症の影響により休館	来場者数 3,087人
④SIAF ラウンジオンライン	参加者とアート関係者が集まり、SIAF やアートのことについて語り合う登録制のオンラインサロンを令和2年10月より毎月10日に開催した。	10月から3月までで6回実施	参加者数 112人

ウ SIAF ラボの活動

「SIAF ラボ」は、SIAFを支える文化の土壌づくりを目指して平成27年に誕生し、以降、ジャンルの垣根を超えて多彩なプログラムを実施するオープンなプラットフォームとして活動している。

項目	概要
①Art Engineering School	メディアアート作品を扱うことのできるテクニカル人材の育成と、世界各国で活躍するエンジニアとの人的ネットワーク構築を目的にレクチャー動画配信や最先端の制作現場を見学する授業をオンラインで実施した。
②さっぽろウインターチェンジ2021	「除雪」と「排雪」に着目し、道路脇に生まれる雪の形状を3Dスキャンし、産業用切削マシンで発砲スチロールを削り出したオブジェクトを彫刻に見立てた除雪彫刻等の作品展示を行った。 期間：令和3年2月5日～14日 場所：札幌文化芸術交流センターSCARTS 入場者数：1,937人

10 札幌演劇シーズン

札幌で生まれた優れた演劇作品を、夏季・冬季にそれぞれ約1ヶ月間連続公演する演劇事業。平成23年度から開催し、札幌市では平成24年度から支援を行っている。

<令和2年度事業概要>

札幌演劇シーズン2020-夏：令和2年8月1日（土）～令和2年8月22日（土）

札幌演劇シーズン2021-冬：令和3年2月4日（木）～令和3年2月18日（木）

	上演作品	上演期間	会場	入場者数
札幌演劇 シーズン 2020-夏 入場者数 計：1,763人	「長靴をはいた猫」	2.7.23-27	シアターZOO	178人
	「ヘリクツイレブン」	2.8.1-8	生活支援型文化施設 コンカリーニョ	470人
	「ねお里見八犬伝」	2.8.12-18	生活支援型文化施設 コンカリーニョ	456人
		2.8.14-15	配信（ライブ）	152人
	「フレップの花、咲く頃に」	2.8.15-22	かでのホール	507人
札幌演劇 シーズン 2021-冬 入場者数 計：2,467人	「ラフ・ライフ」 (特別プログラム：北海道高校演劇)	3.1.8	カナモトホール	118人
	「優しい乱暴」	3.2.4-11	生活支援型文化施設 コンカリーニョ	398人
		3.2.26-28	配信（収録）	525人
	「ありあけ」	3.2.6-13	シアターZOO	311人
		3.2.26-28	配信（収録）	328人
	「空の村号」	3.2.11-18	やまびこ座	348人
	3.2.26-28	配信（収録）	439人	

※2021-冬の入場者数はサテライトプログラム4,624人を除く

11 札幌市博物館活動センター事業～博物館整備推進事業

平成13年1月に策定した「札幌市博物館計画推進方針」に基づき、平成13年11月に博物館の整備に向けた準備施設「札幌市博物館活動センター」（以下「センター」という。）を開設し、資料の収集・保存や調査・研究、普及・交流事業など、市民参加型の活動を中心とするソフト事業重視の活動を行っている。

平成28年4月、センターが入居していたリンケージプラザ（中央区北1条西9丁目）の閉鎖に伴い、豊平区の現在地に移転・再オープンした。

(1) 施設概要

所在地 豊平区平岸5条15丁目1-6
 電話番号 011-374-5002 FAX 011-374-5014
 開館時間 午前10時～午後5時
 休館日 日・月曜日、祝日、
 年末年始（12月29日～1月3日）
 入場料 無料
 建物構造 鉄筋コンクリート造2階建ほか
 敷地面積 6,258㎡
 延床面積 2,213㎡



(2) 利用状況

年 度	来館者数	備考	年 度	来館者数	備考
平成13年度	1,388人	11月開設	平成23年度	7,729人	
平成14年度	10,552人		平成24年度	6,043人	
平成15年度	12,297人		平成25年度	5,927人	
平成16年度	11,504人		平成26年度	5,585人	
平成17年度	7,445人		平成27年度	4,599人	1～3月休館
平成18年度	4,928人		平成28年度	7,151人	現在地に移転
平成19年度	7,400人		平成29年度	9,252人	
平成20年度	6,439人		平成30年度	10,619人	
平成21年度	5,230人		令和元年度	9,057人	3月休館
平成22年度	4,541人		令和2年度	2,816人	4/12～5/30休館
累計来館者数				140,502人	

(3) 事業概要

ア 資料収集・保存

札幌市内や石狩低地帯を中心とした道内の標本資料について継続的に学芸員が収集する他、市民からの寄贈を受け入れている。（令和3年3月末現在）

資料区分	一次資料(点)	二次資料(点)
地 質	460	7,888
古 生 物	3,407	4,966
動 物	58,673	0
植 物	9,847	12,878
菌 類	1,065	217
考 古	45	0
小 計	73,497	25,949
合 計	99,446	

※一次資料は実物資料（直接資料）、二次資料は実物資料以外の「記録」されることにより生じた資料（間接資料）を指す（「博物館ハンドブック」による）。

イ 調査・研究

(7) 小金湯産クジラ化石

平成20年に札幌市南区で発見されたクジラ化石については、3Dデータをもとに形態的特徴についての研究を進めている。

(イ) 札幌の希少植物調査

平成 28 年 3 月策定の「札幌市版レッドリスト 2016」に掲載されている絶滅の恐れがある植物を中心に、生息調査や植生調査などを行っている。

(ウ) 札幌の風穴地の植物・植生調査

市内の特徴的な植生である風穴地の調査を開始し、令和 2 年度は、手稲山にて希少植物に着目した植生調査や温度測定を行った。

(エ) 2020 年札幌市セミ調査

札幌市内でセミの抜け殻を採取し、採取した抜け殻の情報から分布状況やその変化、自然環境の現況・特異性などを解析することを目的に、市民参加型調査を実施した。

ウ 普及・交流事業

(ア) 体験学習会

事業名	開催日	講師	参加者数
特別ワークショップ（リンゴのキーホルダー作り）	2.9.1- 2.10.28	展示解説員	-
特別ワークショップ（フェルトのどんぐりキーホルダー作り）	2.11.4- 2.11.17	展示解説員	-
おさんぽミュージアム（創成川・鴨々川）	2.9.27	古沢 仁(センター学芸員) 共催：札幌市河川事業課	13 人
おさんぽミュージアム～中島公園周辺	2.10.11	古沢 仁(センター学芸員) 山崎 真実(センター学芸員)	16 人

(イ) 企画展示

事業名	開催日	内容	参加者数
おうちミュージアム	2.4.21- 3.3.26	自宅でも楽しめる学びのコンテンツを提案し、自然史への興味・関心を高めることを目的に、センターホームページで身近な自然や遊びについて紹介(全 49 回)	5,731 アクセス
博物館活動日誌'20	3.3.13- 3.5.15	令和 2 年度の博物館活動センター活動内容・研究成果を紹介	849 人

(ウ) PR イベント

事業名	開催日	内容	参加者数
カルチャーナイト 2020	2.7.17- 2.7.19	カルチャーナイト事務局が立ち上げた YouTube チャンネルで博物館活動センター館内を紹介する動画を公開	212 再生 回数

(エ) 学校・他機関等との連携事業

事業名	開催日	内容	参加者数
授業サポート	2.6.9- 2.7.10	のぞみ分校の総合学習で、センター学芸員が特別講師として授業や実習を行った(全 3 回)。	6 人
デリバリー・ミュージアム	2.7.7	小学校で学芸員による札幌や学校周辺の自然について講義・実習を実施	1 校 50 人
れきぶんフェス	3.2.23	パネル展示とワークショップを実施 【主催】市民文化局文化部文化財課	28 人

事業名	開催日	内容	参加者数
西岡公園 ヤンマ団&さかな組の報告展	3. 3. 10- 3. 3. 27	札幌市公園緑化協会との連携事業で同協会が主催する小学生による自然調査隊「ヤンマ団」「さかな組」の活動報告展を当センターで実施	293 人



おさんぽミュージアム～中島公園周辺



博物館活動日誌' 20

エ (仮称) 札幌博物館整備推進事業

(仮称) 札幌博物館の整備については、平成 27 年度の中期実施計画「アクションプラン 2015」に整備に向けた諸計画を策定する「(仮称) 札幌博物館整備推進事業」が盛り込まれた。

本事業を推進するため、平成 26 年度(平成 27 年 3 月)に策定された「(仮称) 札幌博物館基本計画」に基づき、平成 27 年度には「(仮称) 札幌博物館展示・事業活動基本スキーム」の調査・取りまとめを行い、平成 28 年度から、情勢の検証や来館者層の想定、展示・事業に関する方向性について検討を深め、平成 30 年度(平成 31 年 3 月)に「(仮称) 札幌博物館展示・事業基本計画」を策定した。

令和元年度には、これらの計画を基に、(仮称) 札幌博物館展示・事業基本計画の補足調査として、展示室や諸室の構成について考察を行った。令和 2 年度には、(仮称) 札幌博物館整備における民間活力の活用可能性について、他都市や類似館の基礎調査を行い、令和 3 年度には基礎調査の情報に基づき、整備に向けた調査を進めている。

12 学校開放 (文化活動)

昭和 54 年度より、音楽 (器楽、合唱、太鼓)、演劇、舞踊、囲碁、将棋、文学などの活動を行うアマチュアグループ、サークル、市民に練習の場を提供するため、学校施設を開放し、文化活動の促進を図っている。

(1) 開放概要

ア 開放時間	火～土曜日	18:00～21:00 (3 時間)
	日・祝祭日	10:30～12:30 (2 時間)、13:00～17:00 (4 時間)
	月曜日	休み
イ 利用料金	18:00～21:00 (3 時間)	900 円
	10:30～12:30 (2 時間)	600 円
	13:00～17:00 (4 時間)	1,200 円

(2) 開放校 (令和 3 年 3 月 31 日時点) 及び令和 2 年度の利用状況

小学校名	所在地・開放教室数	利用状況 (2 年度)			
		利用件数	延べ利用人数	利用率	
二条小学校	中) 南 2 条西 15 丁目	1	17 件	62 人	26.7%
中央小学校	中) 大通東 6 丁目	1	0 件	0 人	0%

小学校名	所在地・開放教室数		利用状況（2年度）		
			利用件数	延べ利用人数	利用率
幌北小学校	北) 北 19 条西 2 丁目	1	1 件	1 人	4.5%
白楊小学校	北) 北 24 条西 7 丁目	1	25 件	61 人	48.1%
北光小学校	東) 北 12 条東 6 丁目	2	73 件	1,263 人	52.9%
元町小学校	東) 北 25 条東 17 丁目	1	108 件	279 人	72.3%
大谷地小学校	白) 本通 18 丁目南	1	34 件	159 人	29.5%
南白石小学校	白) 南郷通 2 丁目南	1	0 件	0 人	0%
ひばりが丘小学校	厚) 厚別中央 2 条 4 丁目	3	184 件	639 人	70.5%
中の島小学校	豊) 中の島 2 条 1 丁目	1	148 件	200 人	81.0%
平岸小学校	豊) 平岸 2 条 14 丁目	1	0 件	0 人	0%
清田小学校	清) 清田 1 条 4 丁目	1	0 件	0 人	0%
澄川西小学校	南) 澄川 2 条 5 丁目	1	0 件	0 人	0%
琴似小学校	西) 琴似 2 条 7 丁目	1	6 件	40 人	21.4%
発寒南小学校	西) 発寒 2 条 4 丁目	1	45 件	504 人	23.4%
手稲鉄北小学校	手) 前田 2 条 12 丁目	1	7 件	33 人	3.5%
合計（16校 19教室）			648 件	3,241 人	44.4%

令和2年度ジャンル別内訳：器楽87.0%、太鼓7.7%、舞踊2.8%、合唱2.3%、演劇：0.2%、文学0%

13 名義後援

市内で開催される文化芸術行事を奨励するため、名義後援を行うほか、市長賞（賞状）を出賞している。

また、後援する事業のうち希望するものについては、事業名、日程、開催場所等を大通情報ステーション（60ページ）のホームページに掲載するほか、毎月2回発行する文化芸術事業・イベント情報紙「Weekly press（ウィークリープレス）」に掲載し、市内公共施設や宿泊施設等に配布することにより、広く周知を図っている。

年 度	申請件数	市長賞件数 (賞状延枚数)
平成30年度	1,293 件	75 枚
令和元年度	1,341 件	80 枚
令和2年度	553 件	37 枚

14 文化芸術振興活動への助成

本制度は、市民の国際文化交流活動を助成するため、昭和53年度に芸術文化振興基金を創設し、この果実を助成金として交付することで、市民主体の文化芸術活動を継続的に支援している。

昭和59年度に青少年の国内外の文化交流活動、平成4年度に新人育成を目的とした研修及び公演発表などの活動、平成27年度には、文化交流協定等締結都市・姉妹都市との交流活動を助成対象に加えた。また、平成30年度募集分から、近年の応募状況を鑑み、青少年文化交流活動助成分野を廃止の上で新人育成活動分野に統合した。令和4年度からは実施主体を市から札幌文化芸術交流センター SCARTS へ移し、新たな枠組みで実施する予定。

基金造成状況及び交付実績（昭和53年度～令和2年度）

（単位：千円）

年度	交付状況			基金造成状況				年度末残高
	交付額	件数	積立額	同左財源				
				一般財源	寄付金	剰余金		
53	900	芸術文化 3 (個人 1 団体 2)	31,441	20,000	10,000	1,441	31,441	
54	1,800	芸術文化 5 (個人 2 団体 3)	3,207			3,207	34,648	
55	3,000	芸術文化 7 (個人 3 団体 4)	41,600	26,000	14,000	1,600	76,248	
56	4,000	芸術文化 11 (個人 5 団体 6)	31,322	20,000	10,000	1,322	107,570	
57	5,600	芸術文化 8 (個人 0 団体 8)	1,770			1,770	109,340	
58	6,400	芸術文化 14 (個人 4 団体 10)	4,225			4,225	113,565	
59	12,100	芸術文化 16 (個人 5 団体 11) 青少年 11 (個人 0 団体 11)	120,029	100,000	20,000	29	233,594	
60	14,350	芸術文化 20 (個人 5 団体 15) 青少年 11 (個人 0 団体 11)	21,560		20,000	1,560	255,154	
61	15,000	芸術文化 16 (個人 4 団体 12) 青少年 15 (個人 1 団体 14)	18,409		18,331	78	273,563	
62	11,260	芸術文化 17 (個人 1 団体 16) 青少年 11 (個人 0 団体 11)	4,770		3,597	1,173	278,333	
63	12,250	芸術文化 17 (個人 1 団体 16) 青少年 16 (個人 0 団体 16)	2,082		1,272	810	280,415	
元	12,960	芸術文化 17 (個人 5 団体 12) 青少年 17 (個人 0 団体 17)	33,105		30,750	2,355	313,520	
2	15,330	芸術文化 20 (個人 3 団体 17) 青少年 15 (個人 0 団体 15)	41,486		32,209	9,277	355,006	
3	21,130	芸術文化 19 (個人 0 団体 19) 青少年 18 (個人 0 団体 18)	104,730	60,000	40,882	3,848	459,736	
4	21,115	芸術文化振興 5 (個人 1 団体 4) 国際文化 25 (個人 2 団体 23) 青少年 13 (個人 0 団体 13)	136,566	100,000	36,566		596,302	
5	18,840	芸術文化振興 6 (個人 1 団体 5) 国際文化 24 (個人 1 団体 23) 青少年 12 (個人 0 団体 12)	11,371		8,805	2,566	607,673	
6	17,137	芸術文化振興 7 (個人 1 団体 6) 国際文化 23 (個人 0 団体 23) 青少年 10 (個人 0 団体 10)	▲ 139		PMF取崩し ▲ 1,225	1,086	607,534	
7	18,081	芸術文化振興 10 (個人 0 団体 10) 国際文化 27 (個人 2 団体 25) 青少年 8 (個人 0 団体 8)	15,855		15,855		623,389	
8	11,259	芸術文化振興 10 (個人 1 団体 9) 国際文化 26 (個人 2 団体 24) 青少年 10 (個人 0 団体 10)	4,708		4,708		628,097	
9	10,582	芸術文化振興 13 (個人 3 団体 10) 国際文化 21 (個人 1 団体 20) 青少年 10 (個人 0 団体 10)	▲ 162		コンサートホール取崩し ▲ 162		627,935	
10	9,182	芸術文化振興 9 (個人 1 団体 8) 国際文化 15 (個人 0 団体 15) 青少年 10 (個人 0 団体 10)	5,322		4,301	1,021	633,257	
11	7,745	芸術文化振興 11 (個人 0 団体 11) 国際文化 16 (個人 1 団体 15) 青少年 7 (個人 0 団体 7)	12,177		10,397	1,780	645,434	
12	7,851	芸術文化振興 13 (個人 3 団体 10) 国際文化 13 (個人 1 団体 12) 青少年 7 (個人 0 団体 7)	1,978		500	1,478	647,412	
13	8,109	芸術文化振興 9 (個人 1 団体 8) 国際文化 12 (個人 1 団体 11) 青少年 8 (個人 0 団体 8)	1,139		350	789	648,551	
14	7,157	芸術文化振興 10 (個人 2 団体 8) 国際文化 7 (個人 1 団体 6) 青少年 7 (個人 0 団体 7)	▲ 101,050		PMF取崩し ▲ 101,050		547,501	
15	6,948	芸術文化振興 14 (個人 4 団体 10) 国際文化 8 (個人 1 団体 7) 青少年 4 (個人 0 団体 4)	▲ 14,750		PMF取崩し ▲ 14,750		532,751	
16	6,834	芸術文化振興 12 (個人 2 団体 10) 国際文化 8 (個人 3 団体 5) 青少年 6 (個人 0 団体 6)	▲ 16,620		PMF取崩し ▲ 19,520	2,900	516,131	
17	6,854	芸術文化振興 16 (個人 2 団体 14) 国際文化 11 (個人 3 団体 8) 青少年 3 (個人 0 団体 3)	▲ 18,447		PMF取崩し ▲ 18,621	174	497,684	
18	6,521	芸術文化振興 10 (個人 1 団体 9) 国際文化 6 (個人 4 団体 2) 青少年 4 (個人 0 団体 4)	▲ 23,711		PMF取崩し ▲ 24,650	939	473,973	
19	5,423	芸術文化振興 16 (個人 4 団体 12) 国際文化 7 (個人 3 団体 4) 青少年 2 (個人 0 団体 2)	▲ 14,325		PMF取崩し ▲ 15,900	1,575	459,648	
20	6,290	芸術文化振興 10 (個人 0 団体 10) 国際文化 6 (個人 1 団体 5) 青少年 3 (個人 0 団体 3)	▲ 12,865		PMF取崩し ▲ 12,850 その他 ▲ 600	585	446,783	
21	6,161	芸術文化振興 15 (個人 2 団体 13) 国際文化 12 (個人 4 団体 8) 青少年 3 (個人 0 団体 3)	▲ 8,690		PMF取崩し ▲ 9,950 その他 10	1,250	438,093	
22	6,524	芸術文化振興 16 (個人 2 団体 14) 国際文化 7 (個人 2 団体 5) 青少年 1 (個人 0 団体 1)	▲ 9,328		PMF取崩し ▲ 9,194	▲ 134	428,765	
23	3,967	芸術文化振興 7 (個人 1 団体 6) 国際文化 7 (個人 4 団体 3) 青少年 1 (個人 0 団体 1)	▲ 9,959		PMF取崩し ▲ 12,200	2,241	418,806	
24	6,482	芸術文化振興 9 (個人 2 団体 7) 国際文化 10 (個人 3 団体 7) 青少年 1 (個人 0 団体 1)	▲ 16,050		PMF取崩し ▲ 16,050	0	402,756	
25	4,829	芸術文化振興 10 (個人 1 団体 9) 国際文化 11 (個人 3 団体 8) 青少年 2 (個人 0 団体 2)	▲ 8,720		PMF取崩し ▲ 9,547	827	394,036	
26	5,472	芸術文化振興 8 (個人 1 団体 7) 国際文化 10 (個人 1 団体 9) 青少年 0 (個人 0 団体 0)	▲ 2,103		PMF取崩し ▲ 2,107	4	391,933	
27	3,841	新人育成 10 (個人 0 団体 10) 交流協定・姉妹都市 8 (個人 5 団体 3) 国際文化 6 (個人 0 団体 6) 青少年 1 (個人 0 団体 1)	▲ 3,766		PMF取崩し ▲ 5,403	1,637	388,167	
28	4,520	新人育成 14 (個人 2 団体 12) 交流協定・姉妹都市 3 (個人 1 団体 2) 国際文化 3 (個人 0 団体 3) 青少年 1 (個人 0 団体 1)	▲ 10,587		PMF取崩し ▲ 10,952	365	377,580	
29	4,076	新人育成 11 (個人 4 団体 7) 交流協定・姉妹都市 1 (個人 0 団体 1) 国際文化 5 (個人 1 団体 4) 青少年 0 (個人 0 団体 0)	67,429		67,281	148	445,009	
30	2,800	新人育成 10 (個人 3 団体 7) 交流協定・姉妹都市 5 (個人 1 団体 4) 国際文化 8 (個人 0 団体 8)	▲ 15,301		▲ 16,386	1,085	429,708	
1	3,851	新人育成 11 (個人 4 団体 7) 交流協定・姉妹都市 1 (個人 0 団体 1) 国際文化 5 (個人 2 団体 3)	23,328		23,328	0	453,036	
2	1,273	新人育成 8 (個人 5 団体 3) 交流協定・姉妹都市 0 (個人 0 団体 0) 国際文化 1 (個人 0 団体 1)	173,330		170,772	2,558	626,366	
計	365,804		626,366	326,000	243,387	57,569	-	

15 創造都市ネットワーク

文化芸術などに代表される創造性を生かした産業振興やまちづくりを進め、人材育成・集積を図ることで、まちを活性化し、都市ブランド向上にもつなげる「創造都市さっぽろ」の取組推進を目的に、国内外の創造都市とのネットワーク構築や啓発イベントの実施を進めている。

<ユネスコ創造都市ネットワーク (UNESCO Creative Cities Network) >

平成 16 年に、創造的・文化的な産業の育成等により都市の持続可能な発展を目指す世界の都市が、国際的な連携・相互交流を行うことを支援し、文化多様性への理解の増進を図るため、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が設置した枠組み。

札幌市は、平成 25 年 11 月に、文学、映画、音楽、工芸、デザイン、メディアアーツ、食文化の 7 つの登録分野のうち、デジタル技術などを用いた新しい文化的発展やクリエイティブ産業の振興を目指す「メディアアーツ都市」として加盟した。

ネットワークは令和元年 10 月に 66 都市を新たに迎え、世界の 246 都市が加盟しており、札幌市は主に同じメディアアーツ都市との交流・連携事業を実施している。

<創造都市ネットワーク日本 (Creative Cities Network Japan) >

創造都市の取組を推進する(又は推進しようとする)地方自治体等多様な主体を支援するとともに、国内及び世界の創造都市間の連携・交流を促進するためのプラットフォームとして、わが国における創造都市の普及・発展を図ることを目的に、平成 25 年 1 月に設立された。

ネットワークには令和 3 年 3 月現在、117 自治体及び 41 団体が加盟している。札幌市は設立当初から幹事団体として参加し、セミナー・ワークショップ・部会等の運営に携わっている。

<令和 2 年度の主な事業>

(1) 市内での啓発イベント

メディアアーツ都市札幌×No Maps プロジェクト (主催：No Maps 実行委員会、札幌市)

事業内容	開催期間	会場	入場者数
チ・カ・ホ作品展示プロジェクト	3. 2. 20-21	札幌駅前通地下歩行空間	1,593 人
メディアアーツ都市をテーマとしたトークセッション	2. 10. 15	オンライン開催	111 人
コロナ禍における新たなイベント体験		市内各所	
① 「1 TIME CARNIVAL」	① 2. 8. 15, 9. 6		① 130 人
② 「あしたのげいもり」	② 2. 10. 10		② 342 人
③ 「シンクロニシティ」	③ 2. 10. 16-17		③ 4,160 人

(2) 創造都市ネットワーク連携事業

事業内容	事業期間	連携都市
メディアアーツ加盟都市間共同事業「City to City」におけるオンラインデジタル作品共同制作支援	2. 10. 15-11. 15	メディアアーツ分野加盟都市から 9 都市が参加し、うちスロバキア・コシツェ市と連携
メディアアーツ加盟都市とのオンライントークの実施	3. 1. 17 3. 2. 15	オーストリア・リンツ市 スロバキア・コシツェ市
国内加盟都市との異分野連携事業・オンライントークの実施及び推薦図書の展示	2. 12. 22 2. 12. 10-3. 1. 12	神戸市

16 新型コロナウイルス感染症に関する支援策

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、札幌市でも様々な対策が講じられてきた。それに伴い、文化芸術の分野でも活動の中止や延期など、大きな影響が見られたことから、芸術文化活動を停滞させないため、令和2年度は以下の支援策を実施した。

(1) 札幌市文化芸術公演配信補助金「さっぽろアトラライブ」

新型コロナウイルス感染の影響により公演活動の中止や延期が相次いでいる中で、札幌市内の文化芸術公演活動を支援するため、文化芸術活動を行っている方が無観客公演を動画配信する活動を募集し、審査のうえ補助を行った。公演動画は本市ホームページ上でリンクを設け、市民の方にも気軽に楽しんでいただけるようにした。

<事業概要>

交付額：団体 200 万円、個人 50 万円を上限

補助対象経費：会場費、物件費、撮影配信費、出演費、音楽費、文芸費

採択件数：個人 26 件、団体 61 件

(2) コンサート 2020 (新型コロナウイルス関連)

多くのコンサートが中止・延期となり、市民の音楽を鑑賞する機会が減少したことから、感染症対策を行ったうえで低料金のコンサートを開催した。

<概要>

コンサート名	開催日	会場	内容
PMF Connects LIVE! (再掲)	2.9.5- 3.3.27	大通公園西6丁目ほか	PMF2021 機運醸成事業として全13回実施。詳細は11ページに掲載
やっぱり音楽が好き! Kitara ファミリーコンサート	2.9.6	札幌コンサートホール Kitara 大ホール	クラシックやジブリなど、家族で楽しめるコンサート
Kitara 北海道を元気にするコンサート～北の大地にエールを～	2.10.4	札幌コンサートホール Kitara 大ホール	聴きなじみのある曲で、クラシック音楽が初めての方にも楽しめるコンサート
北海道応援コンサート～Kitara でクラシック!	2.10.15	札幌コンサートホール Kitara 大ホール	札幌出身の横山奏式と曲解説による大人のための芸術鑑賞会
北海道応援コンサート～hitaru でシネマ・ミュージック!	2.11.3	札幌文化芸術劇場 hitaru	オーケストラで聴く映画音楽の世界
北海道応援コンサート 親子で聴くチャイコフスキー@市民ホール	3.3.19	カナモトホール (札幌市民ホール)	チャイコフスキーのバレエ音楽を楽しむコンサート

(3) さあ! まわろう SAPPORO～見どころ施設無料化月間～

札幌市では、観光需要及び施設への需要喚起を目的として、令和2年8月1日から8月31日まで、札幌市内の観光地や文化施設など10か所の入場料を無料とするキャンペーンを実施した。文化部所管施設では、札幌芸術の森野外美術館、札幌市時計台、豊平館、本郷新記念札幌彫刻美術館の4か所が対象となった。

施設名	入場者数
札幌芸術の森野外美術館	22,774 人
札幌市時計台	35,191 人
豊平館	10,317 人
本郷新記念札幌彫刻美術館	3,664 人

(4) 札幌ミュージアム・アート・フェア 2020-21

新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの市民が文化芸術を鑑賞する機会を損失したことから、展示販売会を開催することで、地元の美術家にとって、作品発表及び販売機会の一助とするとともに、市民に広く作品鑑賞及び購入機会を提供するため、札幌ミュージアム・アート・フェア 2020-21 を開催した。

<開催概要（札幌芸術の森美術館）>

会 期 2.12.19-3.2.14
 来場者数 3,614 人
 出 展 12 ギャラリー
 売り上げ 3,470,880 円

<開催概要（本郷新記念札幌彫刻美術館）>

会 期 2.12.19-3.2.14
 来場者数 1,415 人
 出 展 3 ギャラリー
 売り上げ 3,015,290 円

(5) 文化芸術活動再開支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている文化芸術活動（公演・展示）において、文化芸術に携わる方々（文化芸術活動を行う市民、芸術家、施設関係者等）の活動再開を支援し、市内文化芸術活動が早期に復興するよう、さらに、その活動の復興により、市民が文化芸術を鑑賞する機会を確保することを目的とし、公演や展示を行う際の劇場、ホール、ライブハウス、ギャラリー等の施設使用料に係る支援金を交付する事業を実施した。なお、本事業は10月から開始となったが、11月のコロナの感染拡大が重なる等、想定より申請件数が少なかったこと、また文化芸術活動が十分に再開したとは言えないことから、未執行分を繰り越し、令和3年度も継続して事業を実施することとなった。

<事業概要>

項目	公演系	展示系	備考
対象期間	令和2年10月16日から令和3年3月15日に開催されるもの		
補助対象施設	札幌市文化芸術施設、札幌市内の公立及び民間立の劇場、ホール、ライブハウス等で要件を満たす施設	札幌市文化芸術施設、札幌市内の公立及び民間立の美術館、ギャラリー等で要件を満たす施設	左記のうち、市があらかじめ認定した施設が対象
補助対象経費	実演により表現される音楽、舞踊、演劇、古典芸能、演芸その他の芸術・芸能の公演に係る施設使用料	絵画、工芸、彫刻、版画、陶芸、書道、写真その他の芸術の展示にかかる施設使用料	・不特定多数の観客を対象としたものに限る ・設営・後片付け等を含む
支給額	上限50万円/日	上限50万円/週	施設使用料の半額を補助（上限あり）
支援件数	423件	76件	